

alaクルーズ平成21年度通常総会



5月24日、平成21年度NPO法人alaクルーズの通常総会が洋室ワークショップルームで開催されました。午前11時中村理事の司会で始まり、篠田理事の開会の辞の後、定数の確認が行われ、会員数62名のうち委任状を含め51名が出席しました。また財団からは来賓として遠藤事業制作課長が出席されました。残念なことに衛館長は英国視察より前日戻られ、今、日本中いや世界中で懸念されている新型インフルエンザ予防のため？涙をのんで欠席されました。



まず、澤野理事長より「年末のイルミネーション事業では11月28日から1月18日まで毎日行われた点灯式に、大勢の方が参加されたり、親子で喜んで見に来ていただきました。その中で私たちも参加した方の表情を直に感じ取ることができました。このことが皆様に身近な活動となり、また、alaクルーズを対外的に知っていただく場（アウトリーチ事業）にもなっています。」又、6月にアールで行われる文化経済学会<日本>2009 可児研究大会への参加で「alaクルーズのような活動は全国でも一握りです。この学会の中でアールを考えることにより、alaクルーズの会員にとってもよい刺激になることと思います。」などと述べられました。その後、議長に支援グループの前田さんが指名され、議事に入りました。平成20年度事業報告が久米副理事長より、会計報告が奥田理事より報告され全会一致で承認されました。続いて平成21年度事業計画案と事業予算案が提案され、同様に全会一致で承認可決されました。最後に来賓の遠藤課長より衛館長のお祝いのお言葉を代読いただき「可児市になくてはならないアールとしての活動や事業推進に力を注いでいきたい。」という力強いお言葉をいただきました。総会は11時30分に終了し、引き続き交流会が開催されました。澤野理事長の乾杯のあと、和気あいあいの中、食事をしながらの懇談となりました。





アーラ祭り

ヴィオラと鍵盤楽器を
体験しよう

石に絵を描こう



7月26日(日)、朝は晴れのち曇り一時豪雨という天候の中、アーラ祭りは開催され、alaクルーズも美術ロフトでイベントを行いました。午前中の“ヴィオラと鍵盤楽器を体験しよう”の企画には、あまり聞きなれない楽器に興味をそそられたせいか、たくさんの参加申し込みがあり整理券が10時30分には配布終了となってしまいました。大正琴のように鍵盤を左手で押しながら右手はバイオリンのような弓で弾く楽器です。参加した子ども達は「初めて見た楽器だったけどおもしろかったよ」「上手に弾けるようになったよ」などと嬉しそうでした。午後からは“石に絵を描こう”です。まず、子ども達は用意された大小の石を選ぶことから始まります。手に取りじっと見つめイメージできたものを描く子、漫画のキャラクターを描く子、おにぎりがあったり、コアラがいたり…。「庭に転がっている石に絵を描いてみたい」と嬉しそうな顔でした。事前に了解を得た山から石を採ってきて、きれいに洗って300個ほど準備したスタッフの苦勞も喜びに変わったことでしょう。「こんなに喜んでもらえるなら、来年もまたやろうか」って声も聞こえてきました。また、各ポジションで活躍したクルーズのスタッフの皆さんご苦勞様でした。



石を選ぶ子

ヴィオラ・鍵盤楽器の演奏



文化経済学会<日本>2009 可児研究大会のスタッフに参加して

6月13日、14日の両日、可児市文化創造センターにて、文化経済学会<日本>2009が開催されました。この学会は毎年全国の大学などで行われており、今年は、アーラでの開催となりました。そこで、alaクルーズも、スタッフとして参加致しました。ギャラリーでは、「アーラクルーズ紹介コーナー」を設け、今までの活動をパネル展示しました、CDに活動内容を収め、資料として配布しました。また、会場の受付や案内、分科会でのサポートを行いました。基調講演や懇親会でも「alaクルーズ」の紹介をして頂き、全国の大学関係者や、イタリア、ブルガリア、韓国などの方々にも「alaクルーズ」という文化ボランティアを知って頂く事が出来ました。スタッフとして参加し貴重な経験が出来、とても良い時間を過ごす事が出来ました。(K)



アウトリーチ体験企画

「からだの不思議発見！ワークショップ」

5月9日（土）午後1：30～3：30 演劇ロフトにおいて「からだの不思議発見！ワークショップ」が行われました。この企画は、アウトリーチ体験企画と題して、からだのほぐし方・楽な動き方を新井英夫講師から学ぶものでした。この日の参加者は24名。最初は緊張しながらのスタートでしたが、全員で手をつなぎひとつのサークルを作るころからだんだん気持ちもほぐれ、ウェーブを作ったり、中心に向かって進んだり“身体を動かすことの面白さ”を体験できました。中でも興味深かったことは、体の重さを実感したことです。二人一組になって、横たわった体を引きずっていったときの重さは忘れられません。この重みこそダンスのポイントだったんだな、と後で気がつきました。2時間半という短い時間の中で、笑ったり、はにかんだりしながら、皆で汗をかきました。一参加者として最も印象に残ったことは、三人一組になってバイクを表現したことです。「動いてください」と言われて上手に動いたバイクがたくさんありました。非日常体験という感じで、次は何をさせられるんだろうと、参加者はドキドキしていました。最後に「皆さん、全員オーディションに合格しました。皆さんはダンサーです」と言われた時はびっくりしましたが、11月以降の展開があるそうで、楽しみです。参加された皆さんの表情はとても生き生きしていました。教えていただいた野口体操に興味があったのでこれからも汗をかき、大笑いし体を動かそうと思いました。健康的な体験でした。



新井英夫氏



バイクの表現



里いもの表現

○からだをほぐす・こころをほぐす

自然の原理をヒントに動いて見ましょう。

「野口体操」を手がかりにして がんばらない・力を抜く・省エネで動く。

より弱く より低く より遅く…お手本は自然界!!

○仲間と繋がる・協力する動き。一緒に「何か」を作ってみましょう。

からだを使ってだれでもアーティスト!!

○「ワークショップ」の可能性。生活の中で、職場で、さまざまな生きる場所で。

○互いの違いを「創造の源（みなもと）」に。

※新井英夫氏

1987～96年 まち・人・風景・と直に関わる先駆的パフォーマンスを始める

1989～98年 野口体操を創設者野口三千三氏から学ぶ

1997年より 国内外でのダンス活動を独学で開始。乳幼児～高齢者まで幅広い対象に向けた

“からだからダンスを発見する”ワークショップを展開中

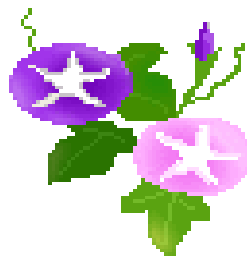


フロントスタッフ第9期研修 4月18日・25日 5月16日・23日

「おはようございます。よろしくお願いします。」緊張の中、フロントスタッフの研修の1日が始まります。今年も星乃もと子先生を招き《劇場マナー講座（フロントスタッフ研修）》が行われました。今回の受講生は15名で、「おもてなしの心」を頭で考える座学や主劇場・小劇場を使い「きびきびした無駄のない劇場内での動き」等、非常にわかりやすく説明していただきました。先輩や職員の方々に、見守られながらの緊張とドキドキの4日間！無事終了。最終日には先生を囲み職員・フロントスタッフの先輩たち総勢30名での交流会を行いました。研修時の大変だったこと、楽しかったこと、これからの活動の不安等、おしゃべりしながら、和気あいあいのうち閉会しました。「忘れないよう1日10分でも良いので復習を」との星乃先生の言葉を胸に初デビューに向け、やる気に燃えている皆さんでした。（O）



クルーズコンサート VOL.6
クリスマスコンサート（小劇場）
 出演 「凜」「花華」
 「トゥリア・ミュー」
 平成21年12月23日
 14:00 開場
 14:30 開演
 チケット発売開始
 10月3日



心にひびくものたちVOL.10
 『絵画』
 平成22年1月13日～18日
 9:00～17:00
ギャラリー

編集後記

この4月にalaクルーズの広報グループのお仲間に入れていただきました。以前よりホールスタッフの方のお姿を拝見し「いつも素敵な笑顔で迎えていただき、心のこもった対応をされているなあ。」と感心していた私でした。市民に開かれた会であること、会員同士の信頼関係の中で活動がすすめられていることなどのお話を伺ってますます興味が湧いてきました。“満足感のある、やってよかったという気持ちになれるように、そしてボランティアは楽しくやらなくちゃ”と思いません。前向きなalaクルーズの一員になり、これからの素敵な出会いにわくわくしています。（T）

進め! alaクルーズ
 (24) ほんだひろし



alaクルーズ事務局 TEL/FAX : 0574-61-3414
<http://www.kpac.or.jp/alacrews/>
 Mail : ala-crews@kpac.or.jp